

# 琉球大学のコロナ禍の取組と学生の学びの変化

---

琉球大学工学部知能情報コース 岡崎威生

okazaki@ie.u-ryukyu.ac.jp



琉球大学

UNIVERSITY OF THE RYUKYUS

# Topics

---

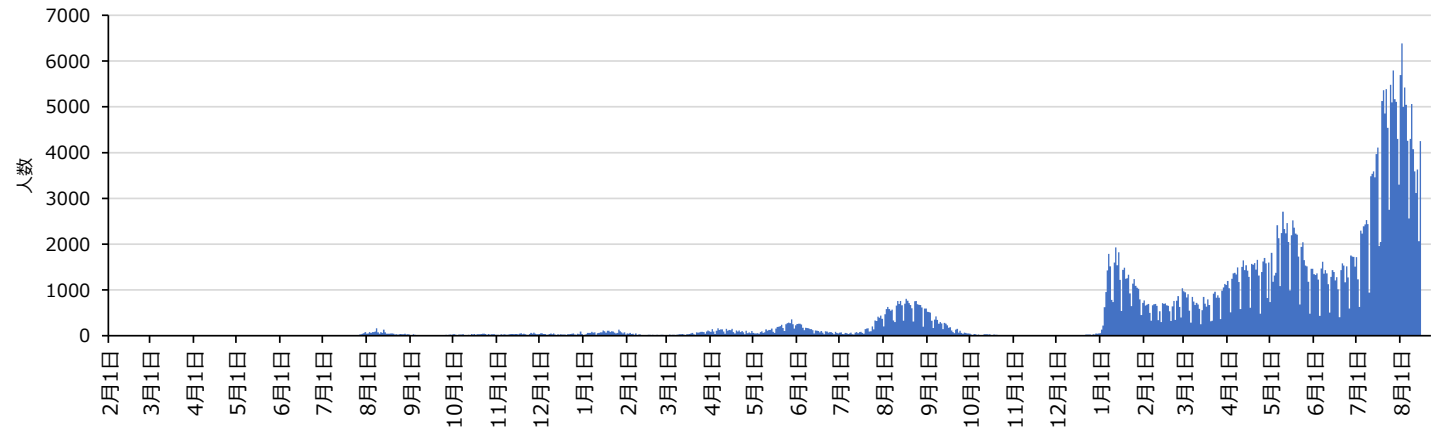
- 沖縄県および琉球大学の状況
  - 大学システム
  - 大学の取組み
  - 学生アンケート
  
- 専門科目にみる学びの変化
  - レポート提出状況

# 沖縄県の状況

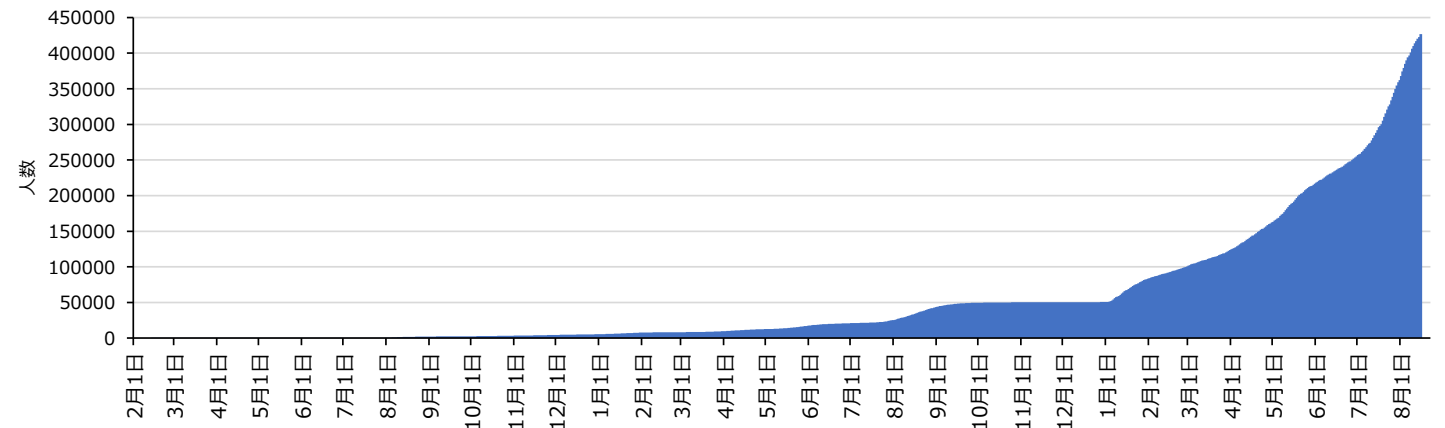
- COVID-19感染者数  
43万人 / 147万人

- 公共交通機関  
バス、モノレール（1路線）  
自家用車による通勤・通学者割合が高い

確定日別 陽性者数 (n=426798)



累積陽性者数 (n=426798)



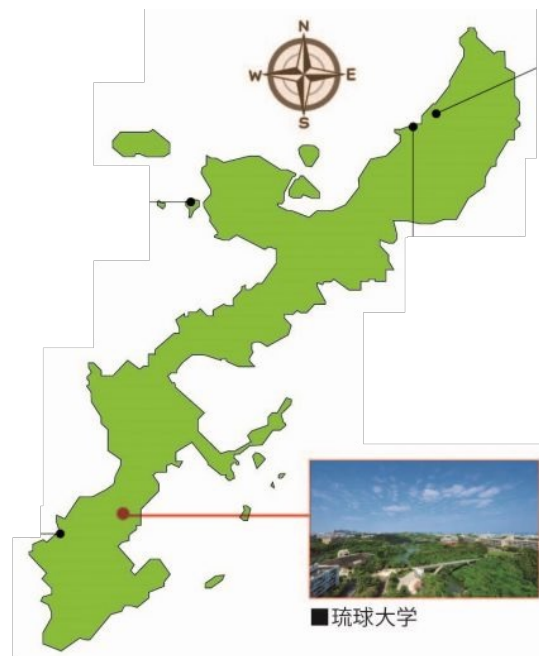
# 琉球大学

- 7学部14学科1課程（7100人） 9研究科（800人）
- 教員（800人） 職員（1400人）
- 本島中南部  
通勤通学の自家用車率高い

通勤通学時の感染リスク



同乗者との車内会話



# 琉球大学の対応

---

- 2020年3月 4月からの授業実施対策
  - 授業方針（グローバル教育支援機構）
  - シラバス記述指導（授業実施や評価の方法）
- 2020年4月～
  - 授業方法FD（非常勤講師も対象に含めて）
  - 学びの継続を！
  - 手書き資料のスキャンでも、とにかく電子化して配信コンテンツに
  - ⇒ FD動画を公開
  - オンライン授業ガイド作成 ⇒ 改訂

# 文部科学省採択事業の効用

---

- 世界展開力強化事業（2018年～）
  - COIL（Collaborative Online International Learning）活用
  - 海外とのオンライン教育活動について各学部で説明会
  - Zoomの利用
  - JV-Campus 授業コンテンツ動画作成
  - 大学の国際化推進フォーラム（2021年～） ルーブリック
- 数理及びデータサイエンスに係る教育強化事業（2019年～）
  - 沖縄県内教育機関（高校も含む）向けオンライン教材開発と配信

# 琉球大学の教育関連システム

---

- 教務情報システム（学籍情報、シラバスなど授業情報、メッセージ）
- LMS Webclass（授業コンテンツ、レポート、試験など） ← 従来より全科目登録  
⇒ Disk容量の強化
- Microsoft Teams ← これまでの活用実績少ない

複数システム利用の功罪

各システムの基本的な操作・利用法の動画ガイド作成

当初新生向け（従来の新生オリエンテーションの代替として）  
在学生や教員への啓蒙効果

# 複数システム運用の影響

---

- 授業毎にオンライン実施方法が異なる（ZoomとTeams）  
学生の戸惑い ⇨ 対応力の向上
- リスク分散  
負荷増大によるシステム障害の回避
- 学生への通知方法  
教務情報システム（シラバス変更とメッセージ）、LMS、Teams、メールなど  
授業方法の変更、課題、相談などの周知が不十分  
**コミュニケーションツール統一は不可欠**



# 大学の学習環境支援

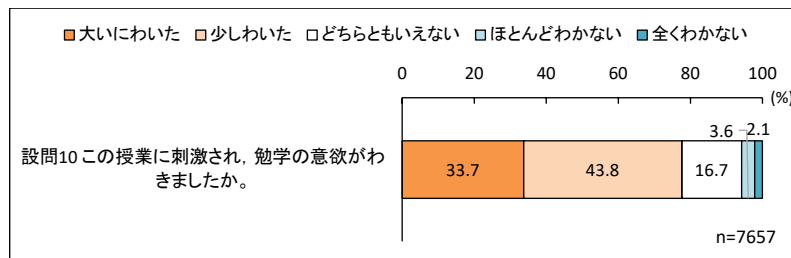
- 学内無線LAN増強
- 授業に使っていない教室を開放
- ノートPC貸出
- WiFiルーター貸出（自宅ネットワーク環境が不十分な学生に）
  
- 教員向け相談窓口一本化  
相談メールアドレス  
⇒ Teamsで関連部局担当者が共有し対応
- 非常勤講師用の配信ブース設置



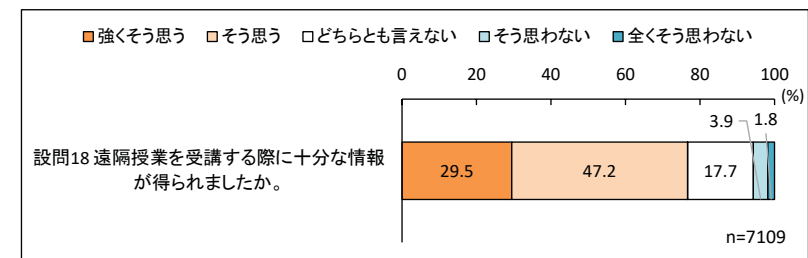
# 学生の状況

- 休学や留年は増えていない
- 2020年後期授業評価アンケート（共通教育）から

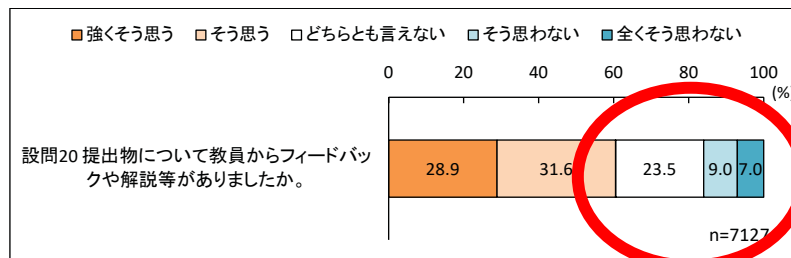
この授業に刺激され、勉学の意欲がわいたか？



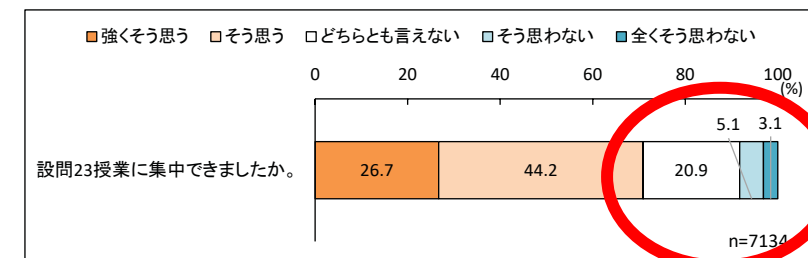
遠隔授業を受講する際に十分な情報が得られたか？



提出物について教員からフィードバックや解説等があったか？



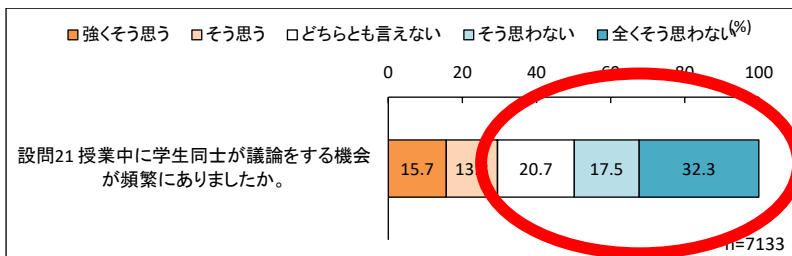
授業に集中できたか？



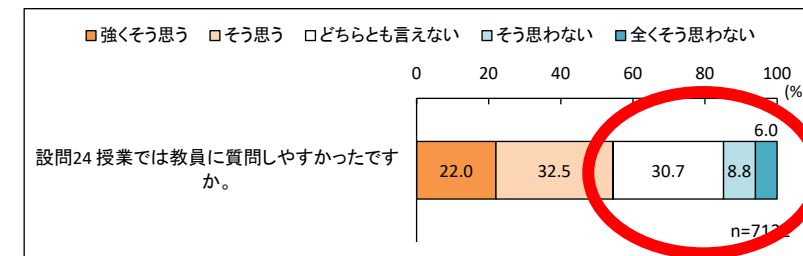
# 学生の状況

## ● 学びのインタラクション

授業中に学生同士が議論する機会が  
頻繁にあったか？

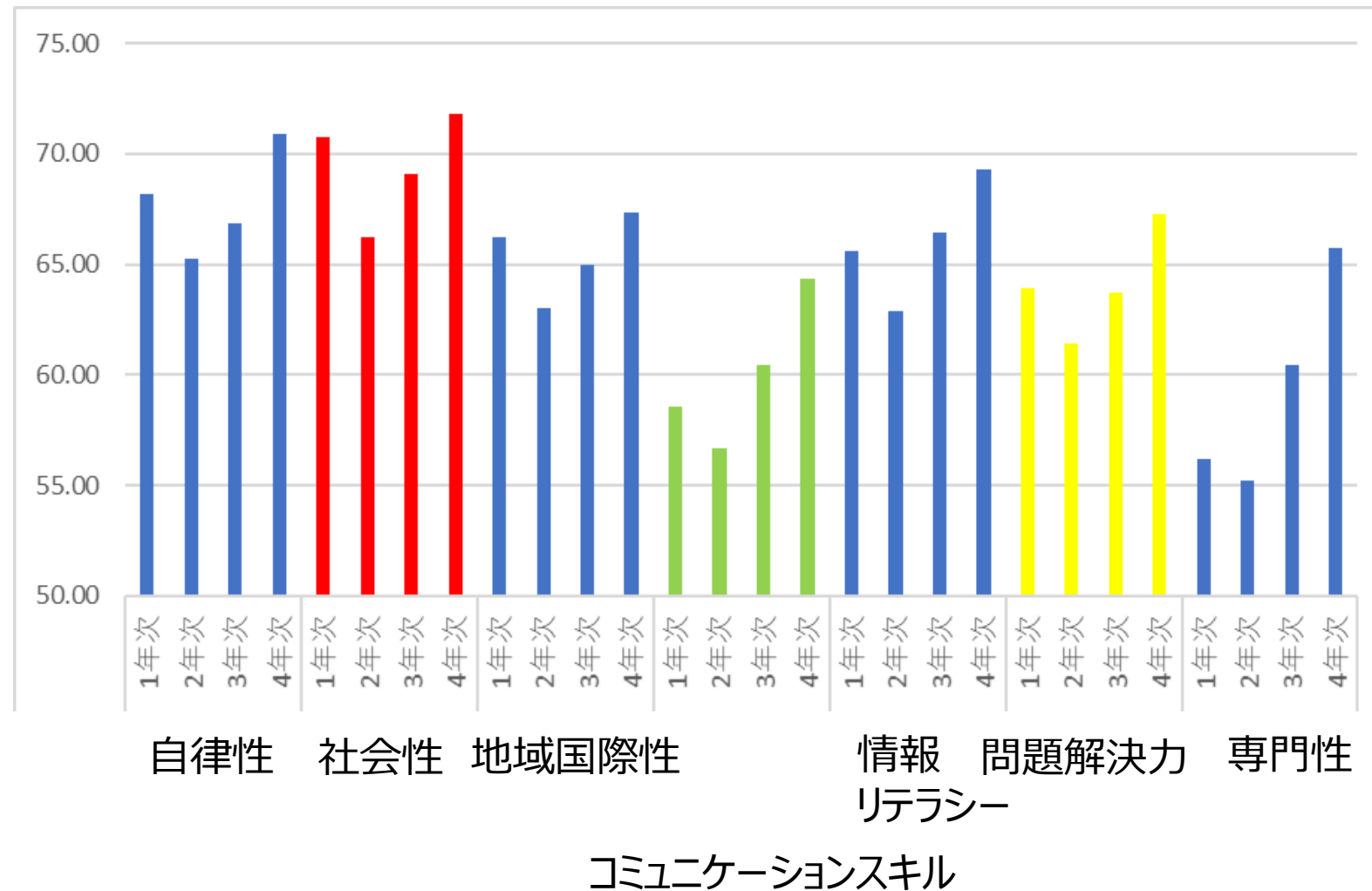


授業では教員に質問しやすかったか？



# 学生の状況

## ● 学生調査から



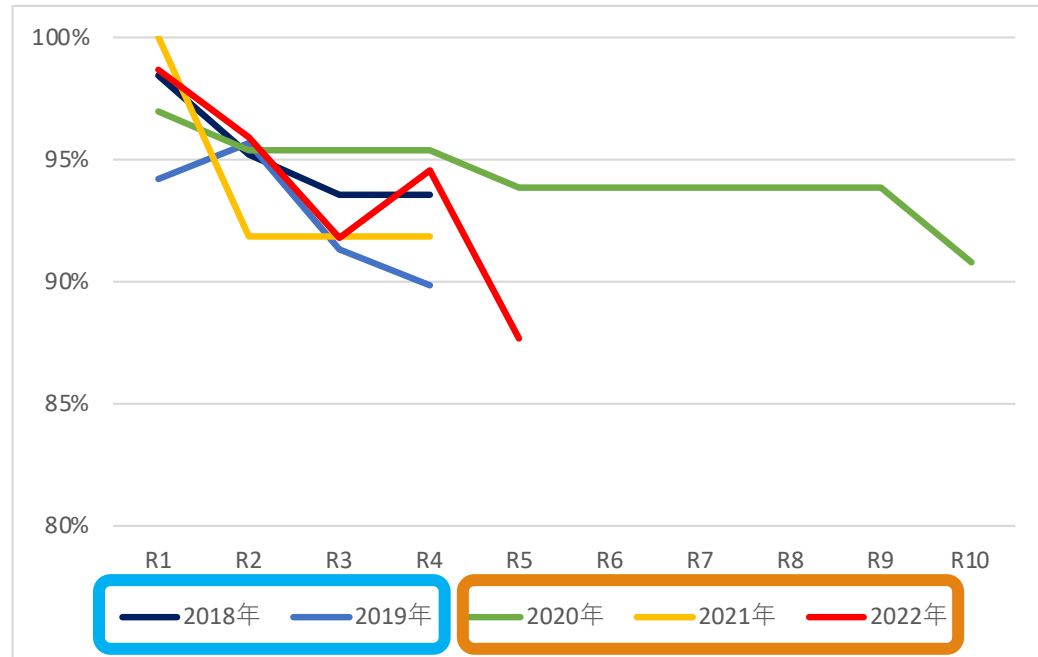
# 専門科目での考察

---

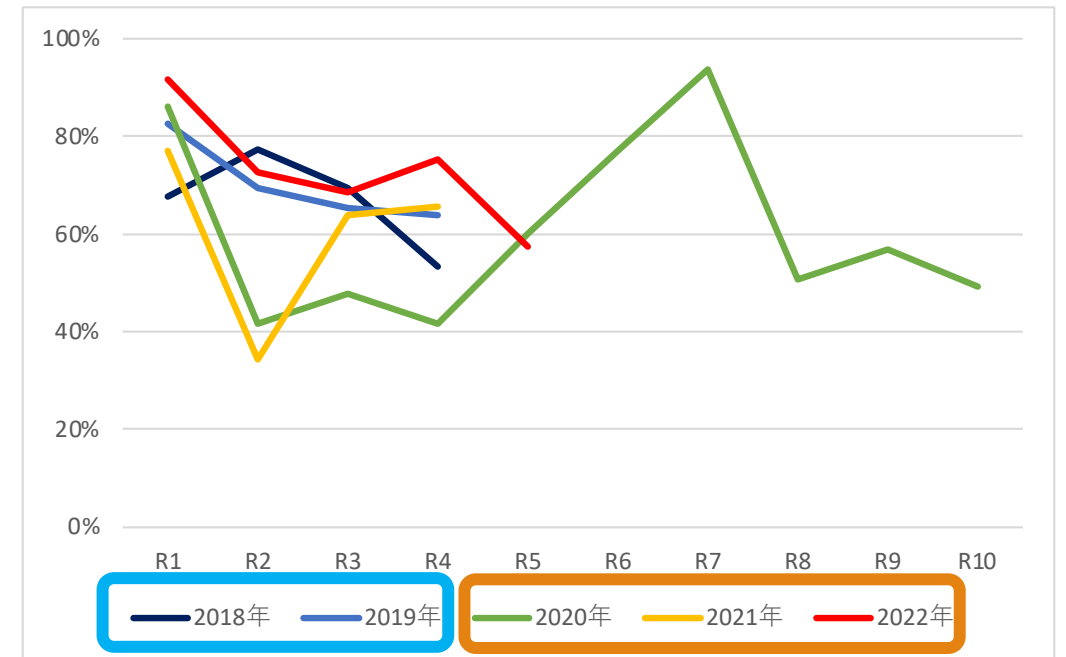
- 「データサイエンス基礎」 工学部知能情報コース2年必修科目 4単位
- 事象の本質を表現・評価し、データを解析できることを目的
- 授業方法 座学＋演習
- 評価方法 中間試験、期末試験、レポートの合計点
- 利用ツール LMS（授業資料の事前配布、レポート提出、採点結果通知）  
授業を撮影し動画を提供（2020年以前から）
  
- 2020年からの対応  
Zoomによるオンライン授業（受講者数が多いため対面不可） 試験は対面  
30分ごとに休憩  
レポートは再提出可 ← 解答例解説＋動画閲覧後に

# レポート提出状況から見える学びの変化

各回レポート提出率（2018年～2022年）



各回レポート満点率（2018年～2022年）





年	2018	2019	2020	2021	2020
平均値	95.2%	92.8%	94.3%	93.9%	93.7%

年	2018	2019	2020	2021	2020
平均値	66.9%	70.3%	60.5%	60.2%	73.2%

# これからへの考察

---

- 授業（オンライン）への集中力不足  
今更ながら反転学習 ⇨ 何を教員から獲得するのか目的を付与
- 2023年から完全オンライン学生が卒業“研究”に  
不安：学生間の情報共有や学びあいの喪失？  
  
DiscordやMattermostなどのツールを利用してグループ活動できている？  
  
オンライン（バーチャル）の中で解決する方法を考えるのか？  
あるいは、限られた対面の機会では何かを仕込むのか？